

公益社団法人日本リハビリテーション医学会 平成 26 年度 第 2 回理事会 議事録

日 時：平成 26 年 6 月 4 日(水) 12 時 30 分～14 時 30 分

場 所：名古屋国際会議場 1 号館 131, 132 会議室

構成員：理事 20 名, 監事 3 名

出席者

理事長／水間正澄

副理事長／椿原彰夫・才藤栄一・出江紳一

理 事／朝貝芳美・浅見豊子・安保雅博・生駒一憲

石合純夫・石川 誠・川平和美・上月正博

佐浦隆一・志波直人・白倉賢二・田島文博

芳賀信彦・正門由久・水落和也

監 事／木村彰男・久保俊一・住田幹男

名誉会員／江藤文夫・千野直一・平澤泰介・村上恵一

専門医会幹事長・事務局幹事／近藤和泉

第 51 回学術集会幹事／加賀谷 齊（代議員総会議長候補）

第 52 回学術集会幹事／辻 哲也

代議員総会副議長候補／藤原俊之

欠席者：理 事／赤居正美

議 題

I. 報 告

1) 業務執行理事会報告

水間理事長から、平成 26 年度第 2 回業務執行理事会（Skype 会議）の報告があった。

2) 会員現況報告

水間理事長から、会員現況について報告があった。

3) 第 51 回学術集会準備状況

才藤第 51 回学術集会会長から、第 51 回学術集会準備状況について報告があった。

4) 代議員総会及び会員への報告会の議事確認について

水間理事長から、代議員総会及び会員への報告会の議事確認が行われた。

5) その他

①リハビリテーション医療関連団体協議会報告

水間理事長から、協議会のグランドデザイン部会では間もなくリハ医療のグランドデザインについて方向性を提示する見込みであること、人材育成部会では PT, OT, ST のキャリアアップに向けた指標作成を行っている旨の報告があった。

また、石川理事から、報酬改定検討作業部会の報告があった。

II. 審議事項

1) 平成 25 年度地方会事務局運営費補助金収支決算及び平成 26 年度地方会事務局運営費補助金の配分について

出江副理事長から、平成 25 年度地方会事務局運営費補助金収支決算及び平成 26 年度地方会事務局運営費補助金配分案について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

2) 会費を 2 年以上滞納した者の取扱いについて

才藤副理事長から、会費を 2 年以上滞納した者についての説明の後、該当者名簿を回覧した。なお、本件は代議員総会で報告し、学術集会での事務局受付開設期間中に事務局受付で確認できるようにすることとした。

3) 第 52 回学術集会の準備状況について

海外出張中の里宇第 52 回学術集会会長に代わり辻第 52 回学術集会幹事から、第 52 回学術集会の準備状況について報告があり、了承された。

4) 試験委員会委員の交代について

水間理事長から、試験委員の江口先生が体調不良のため和田先生に交代したいとの白倉試験委員会担当理事からの要請を受け、本来は委員を指定しないで推薦された者の中から委員を選出する必要があるが、すでに委員会活動が始まっていることや地域性等を考慮し、特例として交代を認めたいとの説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。なお、新委員の任期は、前委員の残任期間とすることが確認された。

5) 会則検討委員会からの各種規則改正案について

①専門医会に関する規則の一部改正案

②審査料・登録料及び手数料等の費用に関する内規改正案

上月理事から、専門医会に関する規則の一部改正案及び審査料・登録料及び手数料等の費用に関する内規改正案について会則検討委員会での検討結果の

説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

6) 会員の入退会について

才藤副理事長から、会員の入退会状況について説明があり、承認された。

7) 社会保険等委員会関係

水落理事から、平成26年度診療報酬改定WEBアンケート案について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。なお、意見があれば6月13日までに事務局に申し出てもらうこととした。

引き続き、研修施設における療養指数の実態調査報告書について説明があり、意見があれば6月13日までに事務局に申し出てもらうこととした。さらに、外保連、急性期病棟リハビリテーション医師研修会、がんのリハビリテーション研修、社保委員会報告が行われた承認された。

また、石川理事から、内保連の報告及び内保連・外保連担当者の交代について説明があり、担当者については次回理事会で確認することとした。

8) 資格認定委員会関係

①指導医の資格更新について

浅見理事から、指導医の資格更新について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

②専門医・認定臨床医の更新について

浅見理事から、専門医・認定臨床医の更新について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。なお、認定臨床医の資格喪失者のうち、終身推薦条件をクリアしている会員が110名おり、認定臨床医(終身)として推薦したい旨補足があり、承認された。

9) 施設認定委員会関係

①研修施設の新規認定について

②研修施設の資格喪失について

田島理事から、研修施設の新規認定及び研修施設の資格喪失について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

10) 2-f(初回)項目による生涯教育単位の申請について

正門理事から説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

11) 2-e項目による生涯教育単位の申請について

正門理事から説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

12) その他

①後援・協賛について

才藤副理事長から説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

②脳性麻痺リハビリテーションガイドライン第2版のMindsへの掲載について

生駒理事から説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

Ⅲ. 報告事項

1) 各種委員会報告

平成26年4月25日から平成26年5月18日に開催された各種委員会について、次の通り各担当理事から報告があった。

① 編集委員会 川平理事

② 資格認定委員会 浅見理事

③ 試験委員会 芳賀理事、白倉理事

④ 広報委員会 安保理事

2) 専門医会報告

近藤専門医会幹事長から、第9回専門医会学術集会について、大会長の所属が変わったが会場の変更はない旨報告があった。

3) RJN 報告

浅見理事から、第51回学術集会3日目の昼に、RJN ランチ会を開催すること及び第9回専門医会学術集会の際に女性医師の池田先生の講演を行うことの報告があった。

4) 国際シンポジウム収支決算報告について

安保理事から、4月19日に東京慈恵会医科大学病院で開催された国際シンポジウムの収支決算について報告があった。

5) 2-f(2回目以降)、2-g項目による生涯教育研修単位の申請について

正門理事から報告があった。

6) その他

①水間理事長から、本医学会 Honorary Member である米国 Frederic J. Kottke 先生が、5月13日96歳でご逝去された旨報告があり、千野直一名誉会員に学会誌に追悼文を寄稿していただくこと及び7月12日に行われる葬儀に本医学会から弔電を送ることとした。

以 上

公益社団法人日本リハビリテーション医学会 平成 26 年度 第 3 回理事会（臨時）議事録

日 時：平成 26 年 6 月 4 日（水） 17 時 15 分～18 時

場 所：名古屋国際会議場 143 会議室

構成員：理事 20 名，監事 3 名

出席者

理 事／浅見豊子・安保雅博・石川 誠・出江紳一
久保俊一・上月正博・近藤和泉・才藤栄一
佐浦隆一・志波直人・島田洋一・白倉賢二
菅本一臣・千田益生・帖佐悦男・椿原彰夫
道免和久・芳賀信彦・正門由久・水間正澄

監 事／朝貝芳美・木村彰男・田島文博

1. 理事長（代表理事）の選出について

定款第 24 条第 2 項の規定により理事長（代表理事）の選出を行うにあたり，理事会の人事に関する内規第 2 条第 1 項に基づき事務局長が議長となり議事を進行した。

理事長（代表理事）候補者として，才藤栄一理事から水間正澄理事の推薦があり，その他の推薦がなかったことから，水間正澄理事の所信表明を受けたのち信任投票を行い，水間正澄理事が理事長（代表理事）に選出され，水間正澄理事は就任を承諾した。

理事長の選出により，議長を事務局長から水間理事長に交代した。

2. 審議事項

1) 副理事長の選出

定款第 24 条第 2 項の規定により副理事長の選出を行うにあたり，理事会の人事に関する内規第 3 条第 2 項に基づき水間理事長から才藤栄一理事，出江紳一理事，安保雅博理事の推薦，久保俊一理事から芳賀信彦理事の推薦があった。

候補者が 4 人となったことから内規第 3 条第 3 項に基づく選出選挙を行うにあたり，内規第 3 条第 5 項に規定する無効票が出た場合の選挙の扱いについて，監事が協議して次のように選挙を行うこととした。

①投票用紙には 3 名以内の候補者名を記入，姓のみの記入でも可。

②白票は一人の候補者の名前も記入していない投票

用紙とし，投票用紙への記入は 1 名のみでも可とする。

③開票の結果，有効投票の過半数未満または同数の票を獲得した最下位の候補者が複数いた場合は，その者を対象に再度投票を行い，再び同数となった時は，当該候補者による抽選により決する。

なお，副理事長選挙に関する手続き等については，今後しかるべき委員会等で検討していくこととした。

投票の結果，才藤栄一理事，出江紳一理事，安保雅博理事が選出され，3 理事とも就任を承諾した。

2) 各種委員会担当理事について

水間理事長から，各種委員会担当理事については 1 週間以内に案を示すことの説明があり，了承された。

3) 専門医会幹事の任期について

水間理事長から，近藤和泉専門医会幹事長が理事に選任されたため専門医会に関する規則第 6 条第 3 項に抵触することとなるが，今年度実施される専門医会幹事選挙を経て理事会が承認するまでの間，特例として近藤理事の専門医会幹事兼任を認めることとした。

なお，専門医会幹事長と理事の兼任は好ましくないとする意見もあり，専門医会幹事会で検討してもらうこととした。

4) 日本医学会評議員，連絡委員，日本医学会医学用語委員及び代委員の推薦について

水間理事長から，日本医学会評議員等の推薦依頼について説明があり，これらの委員は職指定として対応する必要があることから，評議員は水間理事長，連絡員は才藤副理事長，医学用語委員は評価・用語委員会太田喜久夫委員長とし，代委員は翌日開催の評価・用語委員会で検討することとした。

5) 日本専門医機構社員の推薦について

水間理事長から，平成 26 年 4 月 1 日に発足した日本専門医機構の組織及びリハ医学会からの社員として芳賀理事を推薦する旨の説明があり，了承された。

6) 大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議

会広報委員の推薦について

水間理事長から、現在大規模災害リハ支援関連団体協議会委員及び広報委員として水間理事長が出ているが、改めて委員及び広報委員を選任し登録したい旨説明があり、了承された。なお候補者は、次回理事会に提案する旨補足があった。

7) 第4回理事会の開催について

水間理事長から、7月12日に開催される新体制後の理事会は、オリエンテーションを午前中に開催し、12時から通常の理事会を行った後、懇親会を開催するとの説明があり、了承された。

8) 平成26年度理事会日程及び平成27年度理事会日程(案)について

水間理事長から、平成26年度開催日程及び平成27年度開催日程案について、各役員がそれぞれ日程を確認し、次回理事会で決定する旨説明があり、了承された。

9) その他

①日本脳科学関連学会連合連合代表候補者の推薦について

水間理事長から、日本リハビリテーション医学会からの推薦について報告があった。

②新役員登記手続き他について

事務局長から、新役員登記関係の書類提出について依頼があった。

以 上

公益社団法人日本リハビリテーション医学会 平成26年度 第4回理事会 議事録

日 時：平成26年7月12日(土) 14時～18時

場 所：八重洲会議室 2A会議室

構成員：理事20名、監事3名

出席者

理事長／水間正澄

副理事長／才藤栄一・出江紳一・安保雅博

理 事／浅見豊子・石川 誠・久保俊一・上月正博

近藤和泉・佐浦隆一・島田洋一・白倉賢二

菅本一臣・千田益生・帖佐悦男・椿原彰夫

道免和久・芳賀信彦・正門由久

監 事／木村彰男

欠席者：理 事／志波直人

監 事／朝貝芳美・田島文博

議 題

I 報 告

1) 業務執行理事会報告

水間理事長から、平成26年度第3回業務執行理事会(Skype会議)の報告があった。

2) 会員現況報告

水間理事長から、会員現況について報告があった。

3) 第51回学術集会報告

才藤第51回学術集會会長から、第51回学術集会について報告と謝辞が述べられた。

4) その他

①専門医制度について

水間理事長から、日本専門医機構が発足し、ようやく組織と委員会の役割が決まったようだが、現時点では日本専門医機構ニュースでの情報以外に情報がない旨説明があった。

また、「基本領域専門医委員会」「基本領域研修委員会」の委員推薦について要請があるが、本医学会の専門医制度対策委員会構成が決まった段階で決めていきたい旨説明があり、了承された。

さらに、日本外科学会から日本専門医機構に対する質問状に賛同するよう依頼があり、賛同することとしたい旨説明があり、了承された。

引き続き芳賀理事から、6月7日に開催された専門医制度対策委員会の議論について、現時点で研修カリキュラムの検討はほぼ終了し、研修プログラム整備基準案についても研修プログラムに大学病院を加えることの必要性、病棟主治医としての経験期間を12カ月と設定するかどうかなどについても検討を行った旨説明があった。また、現時点で日本専門医機構の最終方針が決まっていないので、動向を見ながら、研修プログラムの見直しが必要だろうとの補足があった。

②リハビリテーション医療関連団体協議会報告

石川理事から、リハビリテーション医療関連団体協議会の現状等について報告があった。また、水間

理事長から、この協議会を通じてリハビリテーションの将来像を提言していく必要があり、今後も重要な位置付けとしていく旨補足があった。

③日本脳科学連合学会連合評議員会

水間理事長から、脳科連第3回評議員会報告があった。

④日本医学会連合第1回理事会

水間理事長から、日本医学会連合が発足し第1回理事会が開催され議事録が送られてきた旨報告があった。

⑤役員会ガイダンス等について

水間理事長から、本日は台風の影響を考慮してガイダンスを延期したが、改めて次回理事会の際にガイダンスを行うこととする旨説明があった。また、理事会の任務として、各理事は理事会の議論を各委員会に伝えるとともに、単なるメッセンジャーではなく委員会のリーダーとして活動していただくよう強く要請があった。引き続き、安保副理事長から、席上配布された各委員会担当理事宛ての平成26年度予算配分書について説明及び各委員会における事業の立ち上げなどは、今後の財政安定状況を見ながら検討していただきたい旨要請があった。

II. 審議事項

1) 理事会の役割分担について

水間理事長から、新体制における各理事の役割分担の案について、次のような説明があった。

ア) 部会・各種委員会構成においては、データベースを専門医制度等に反映させることの検討が重要となることから、データマネジメント委員会を総務部から学術部に組織替えする。

イ) 今後更に重要となるだろう委員会については2名の担当理事を置く。

ウ) 理事長直轄委員会のうち、新たに財務委員会、選挙制度検討委員会、ISPRM 招致委員会を立ち上げる。財務委員会は常設委員会とし、公認会計士に加わってもらうが、委員会への監事の関与についても検討する。選挙制度検討委員会は、代議員選挙、役員選挙、専門医会幹事選挙の在り方について、弁護士にも加わってもらう検討する。更に、ISPRM 招致委員会は、ISPRM からの要請を受け、2019年にISPRM 国際学会を日本に招致するための準備委員会と

して活動する。この件について才藤副理事長から、今年度末ごろに国内誘致の立候補を行っていく。なお、2019年の学術集会と連携する必要があることから、学術集会会長の選任についても検討していく必要があるとの補足説明があった。

また、委員会の構成については業務執行理事会に一任してほしい旨説明があった。

これらについて審議した結果、原案のとおり承認された。

2) 関連団体の担当者について

水間理事長から、リハビリテーション医学会各関連団体の担当者について説明があった。関連団体の担当者は、関連するリハビリテーション医学会各種委員会等の担当者の当て職を原則として行くことについて説明があった。担当者名の一部の修正説明があり、審議の結果、修正案のとおり承認された。

なお、修正した資料を後日事務局から役員に送付することとした。

3) 新理事体制に伴う各種委員会委員の補充、交代について

水間理事長から、編集委員会の道免先生、菅本先生が理事に就任されたことに伴う委員の交代依頼があったため、水野勝広先生、三原雅史先生と交代する旨の説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

4) 平成26年度後期各種委員会委員の退任・委嘱について

水間理事長から、後期各種委員会委員の推薦について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

5) システム委員会特別委員の委嘱について

水間理事長から、学術集会幹事として委嘱しているシステム委員会特別委員の退任・委嘱について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

6) 第53回学術集会幹事の委嘱について

水間理事長から、第53回学術集会幹事として京都府立医科大学の池田巧先生に委嘱することについて説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

7) 事務局幹事の委嘱について

水間理事長から引き続き事務局幹事を置く旨の説明があり、才藤副理事長から、事務局幹事は理事長

の秘書的役割をもちながら事務局との連絡調整を密に行う必要があることから、候補者として昭和大学の川手信行先生を推薦するとの発言があり、審議の結果、推薦のとおり川手信行先生に委嘱することとした。

8) 日本小児神経学会理事候補者の推薦について

水間理事長から、日本小児神経学会から外部理事の推薦依頼があり、朝貝芳美先生を推薦したい旨説明があり、審議の結果、案のとおり承認された。

9) 平成 26 年度理事会日程及び平成 27 年度理事会日程案について

水間理事長から、平成 26 年度理事会日程及び平成 27 年度理事会日程案について説明があり、承認された。

10) 会員の入退会について

才藤副理事長から、会員の入退会状況について説明があり、承認された。

11) 社会保険等委員会関係

石川理事から、急性期病棟におけるリハビリテーション医師研修会報告及び今後の開催予定について説明があった。また外保連の報告も行われ、了承された。

12) 資格認定委員会関係

①指導医の新規認定について

浅見理事から、指導医の新規認定について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

②指導医の資格更新について

浅見理事から、指導医の資格更新について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

③専門医・認定臨床医の更新について

浅見理事から、専門医・認定臨床医の更新について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

④ 2014 年度試験書類審査特別委員について

浅見理事から、2014 年度専門医・認定臨床医試験の書類審査特別委員の委嘱案について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

⑤指導医認定に関する委員会内取り決め（一部改正案）について

浅見理事から、指導医の認定に関する内規第 2 条（4）の取扱いに関して、新規申請者の中に同内規第 2 条（1）の規程に抵触する申請者がいたため同内規を改正しなければならない状況になったことから、内規改正までの間の取扱いとして、委員会内取

り決めの改正で対応したい旨説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

13) 施設認定委員会関係

①研修施設の新規認定について

椿原理事から、研修施設の新規認定について説明があった。審議の結果、申請施設に医療機関でない施設があり研修施設認定要件に該当しないため保留としている件については、診療報酬と研修施設との関係、専門医制度における研修施設の関係などを整理したうえで、委員会で採否を決定してもらうこととし、原案のとおり承認された。

②研修施設の資格喪失について

椿原理事から、研修施設の資格喪失について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

14) 2-f（初回）項目による生涯教育単位の申請について

正門理事から説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。なお、研修会講演の複数申請と単位付与の在り方について、今後教育委員会で検討していくこととした。

15) 2-e 項目による生涯教育単位の申請について

正門理事から説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

16) 寄附募集について

安保副理事長から、寄附募集について説明があった。審議の結果、今後、医学会 HP に掲載する等を含め、原案のとおり承認された。

17) 「介護支援専門医からリハ医への Web アンケート調査」の実施について

久保理事及び菅本理事から、日本介護支援専門員協会からの要請により Web アンケートを実施したい旨の説明があった。審議の結果、アンケート結果を外部組織に渡す際には倫理委員会への届け出と審議が必要となるのではないかとの意見が出たため、本件は保留とし、出江副理事長のもとで倫理審査の必要性を整理することとした。

18) その他

①後援・協賛について

才藤副理事長から説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

②弁護士顧問契約の締結について

水間理事長から、小林哲也弁護士との顧問契約を締結する旨説明があり、審議の結果、原案のとおり

承認された。

③大学医学部・医学会女性医師支援担当者連絡会について

浅見理事から、日本医師会、日本医学会から大学医学部・医学会女性医師支援担当者連絡会への出席要請があり、浅見理事及び小口和代先生並びに水間理事長に出席願うことについて説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

4) 事務職員の出張旅費の取扱い（改正案）について
事務局長から、事務職員の出張旅費の取扱い（改正案）について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認され、会則検討委員会に附議することとした。

Ⅲ. 報告事項

1) 各種委員会報告

平成 26 年 6 月 5 日から平成 26 年 6 月 29 日に開催された各種委員会について、次の通り各担当理事から報告があった。

- | | |
|----------------|-----------|
| ① 編集委員会 | 道免理事 |
| ② 評価・用語委員会 | 水間理事長 |
| ③ 教育委員会 | 正門理事，島田理事 |
| ④ 資格認定委員会 | 浅見理事 |
| ⑤ 障害保健福祉委員会 | 久保理事，菅本理事 |
| ⑥ 関連機器委員会 | 菅本理事，島田理事 |
| ⑦ 関連専門職委員会 | 帖佐理事 |
| ⑧ 広報委員会 | 千田理事 |
| ⑨ 国際委員会 | 佐浦理事 |
| ⑩ データマネジメント委員会 | 近藤理事 |

2) 専門医会報告

近藤専門医会幹事長から報告があった。

3) RJN 報告

浅見理事から報告があった。

4) 平成 26 年度医学生，研修医等をサポートするための会の開催について

浅見理事から、今年度も RJN セミナーを申請する旨報告があった。

5) 2-f (2 回目以降)，2-g 項目による生涯教育研修単位の申請について

正門理事から報告があった。

6) 病態別実践リハ研修会について

正門理事から報告があった。

7) 医療倫理・安全研修講演，指導医講習会報告

正門理事から報告があった。

8) 臨床研修医等医師向けリハ研修会について

島田理事から報告があった。

9) その他

①シーティングで自立支援と介護軽減を実現する議員連盟第 4 回会合報告

水間理事長から説明があり、今後関連機器委員会や関連専門職委員会などと協議し、シーティングやロボット関連などの特別委員会を立ち上げていく必要があるとの見通しが報告された。

②和文学会誌に関するアンケート集計結果について
道免理事から、学術集会を中心に行われた和文学会誌に関するアンケート集計結果について報告があった。

③次回理事会について

水間理事長から、次回第 5 回理事会は 12 時から 1 時間のガイダンスを行い、その後 13 時から 17 時まで理事会を開催する旨説明があった。

以 上